

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成29年8月17日(2017.8.17)

【公表番号】特表2016-528681(P2016-528681A)

【公表日】平成28年9月15日(2016.9.15)

【年通号数】公開・登録公報2016-055

【出願番号】特願2016-525395(P2016-525395)

【国際特許分類】

H 01 R 4/38 (2006.01)

【F I】

H 01 R 4/38 A

【手続補正書】

【提出日】平成29年7月7日(2017.7.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

導電体を固定するためのメカニカル・ラグであって、

内フランジ及び外フランジを有する本体であって、前記内フランジが、水平部材と連結部材とを含み、前記連結部材の各側部が、角度付きポケットを区画形成する開放側部であり、前記外フランジが、テーパ面を持つフックを含み、前記外フランジが、前記外フランジの前記フックが前記内フランジの前記開放側部に配置されかつ前記内フランジの前記連結部材の前記角度付きポケットと係合する状態で、前記内フランジに重なる、本体と、

前記本体から延在する取付け舌状部と、

を備えた前記メカニカル・ラグ。

【請求項2】

前記外フランジの前記フックがL字状である、請求項1記載のメカニカル・ラグ。

【請求項3】

前記外フランジの前記フックが開口を区画形成し、前記開口が、前記内フランジの前記連結部材を受容する、請求項1記載のメカニカル・ラグ。

【請求項4】

前記本体が、前記導電体を保持するためのセレーションを持つV字状底部を含む、請求項1記載のメカニカル・ラグ。

【請求項5】

前記外フランジ及び前記内フランジが中心孔を持ち、前記導電体を固定するために前記孔内に締め具が配置される、請求項1記載のメカニカル・ラグ。

【請求項6】

前記内フランジ及び前記外フランジが嵌合し、ダブル連結部を形成する、請求項1記載のメカニカル・ラグ。

【請求項7】

前記取付け舌状部が、前記メカニカル・ラグを取り付ける締め具を受容するための孔を含む、請求項1記載のメカニカル・ラグ。

【請求項8】

導電体を固定するためのメカニカル・ラグであって、

外フランジと内フランジとを有する本体と、

前記本体から延在する取付け舌状部と、
を備え、

前記外フランジは第1の側面を規定し、かつ前記外フランジは、第2の側面を規定する
ように前記内フランジに重なりかつ前記内フランジと係合し、

前記内フランジは、水平部材と、角度付きポケットを形成する開放側部を備える連結部
材と、を有しており、

前記外フランジは、テーパ面を備えるフックを有しており、前記フックの前記テーパ面
は、ダブル連結部を形成するように、前記内フランジの前記連結部材の前記角度付き
ポケットと係合することを特徴とするメカニカル・ラグ。

【請求項9】

前記連結部材はT字状である、請求項8記載のメカニカル・ラグ。

【請求項10】

導電体を固定するためのメカニカル・ラグであって、

内フランジと外フランジとを有する本体を備え、

前記内フランジが、水平部材と、連結部材とを含み、前記連結部材の各側部は、角度付
きポケットを画定する開放側部であり、

前記外フランジは、テーパ面を持つフックを有し、前記外フランジの前記フックは、前
記内フランジの前記連結部材の前記開放側部に配置され、かつ前記外フランジの前記フッ
クは、前記内フランジの前記連結部材の前記角度付きポケットに係合する、メカニカル・
ラグ。

【請求項11】

前記外フランジは、前記内フランジに重なる、請求項10記載のメカニカル・ラグ。

【請求項12】

前記外フランジの前記フックがL字状である、請求項10記載のメカニカル・ラグ。

【請求項13】

前記外フランジの前記フックが開口を画定し、前記開口が、前記内フランジの前記連結
部材を受容する、請求項10記載のメカニカル・ラグ。

【請求項14】

前記内フランジと前記外フランジとは、ダブル連結部を形成するように、嵌合する
、請求項10記載のメカニカル・ラグ。

【請求項15】

導電体を固定するためのメカニカル・ラグであって、

内フランジと外フランジとを有する本体を備え、

前記内フランジが、水平部材と、角度付きポケットを形成する開放側部を伴う連結部材
とを含み、

前記外フランジは、テーパ面を持つフックを有し、前記フックの前記テーパ面は、ダブ
テール連結部を形成するように、前記内フランジの前記連結部材の前記角度付きポケット
に係合する、メカニカル・ラグ。

【請求項16】

前記連結部材はT字状である、請求項15記載のメカニカル・ラグ。